



朗読劇「北鵜島・真更川組曲」の上演と詩のワークショップ

入場無料！

〔劇の上演〕 2025 年 11 月 2 日（日）午後 3:00～4:00 北鵜島公民館にて

フェリーで海を渡る「離島留学」の少女、一生同じ岩を見続けてきた島の老人、丘の上で朽ちてゆく船、滝になった龍とおせんとの伝説、車田植の早乙女たち……。北鵜島と真更川を舞台に、佐渡の風土と人々の暮らしを、舞いと音楽と詩の朗読劇でお届けします。



舞踏は、岩手県遠野市の外山神楽など民俗芸能や伝統的な行事に参加しながら Butoh の可能性を追求してきたパフォーマンスユニット遊舞舎。音楽は国際的にも注目を浴びる音楽ユニット sofabed のシンセ・ボーカル担当・Masahiro Oyama。そして詩は、詩人の四元康祐。すべてこの夏佐渡に滞在して書き下ろした新作です。

〔詩のワークショップ〕 同日 午後 4:30～5:30 北鵜島公民館にて

劇を観たあとは、誰にでも楽しめる詩の書き方教室。身の回りの日常の細部や、あなたの心の深みにひそむ思いを、言葉にしてみましょう。

はてしない海のただなかに屹立しながら、世界と宇宙に向かって開かれた壮大なネットワークの結節点としての佐渡。その〈島の詩学〉を探り、学び、言祝ぐための一タです。どうぞご参加ください。



第二回タヌキ祭りは「さどの島銀河芸術祭」に参加しています。

企画：John Williams（上智大学外国語学部教授・上智大学比較文化研究所共同研究ユニット「Exploring a Japanese Fishing Village through Art」研究代表者

